



2022年度 FIT-join活動計画



目次

1. メンバー紹介

2. FIT-joinの目的

3. 現状の問題点

4. 2022年度の課題

5. 今年度の目標

6. 今年度の活動内容

1. メンバー紹介

大学院 1年生

情報通信工学専攻 1名

4年生

生命環境化学科 1名

情報通信工学科 2名

情報システム工学科 1名

3年生

知能機械工学科 4名

情報工学科 1名

社会環境学科 1名

2年生

知能機械工学科 2名

電気工学科 3名

情報通信工学科 1名

社会環境学科 1名

1年生

知能機械工学科 1名

情報工学科 1名

計 20人

2. FIT -joinの**目的**

福工大学生FD (FIT-join) では、本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生をつなぐ活動によって本学の「**学びのコミュニティづくり**」の役割を担う

3. 現状の問題点

1. 各活動への参加者（FIT-join以外）が少ない、限られている
2. FIT-joinの認知度が低い



4. 2022年度の課題



アンケートや座談会などの活動を知ってもらえるような工夫



消極的な学生を巻き込む工夫

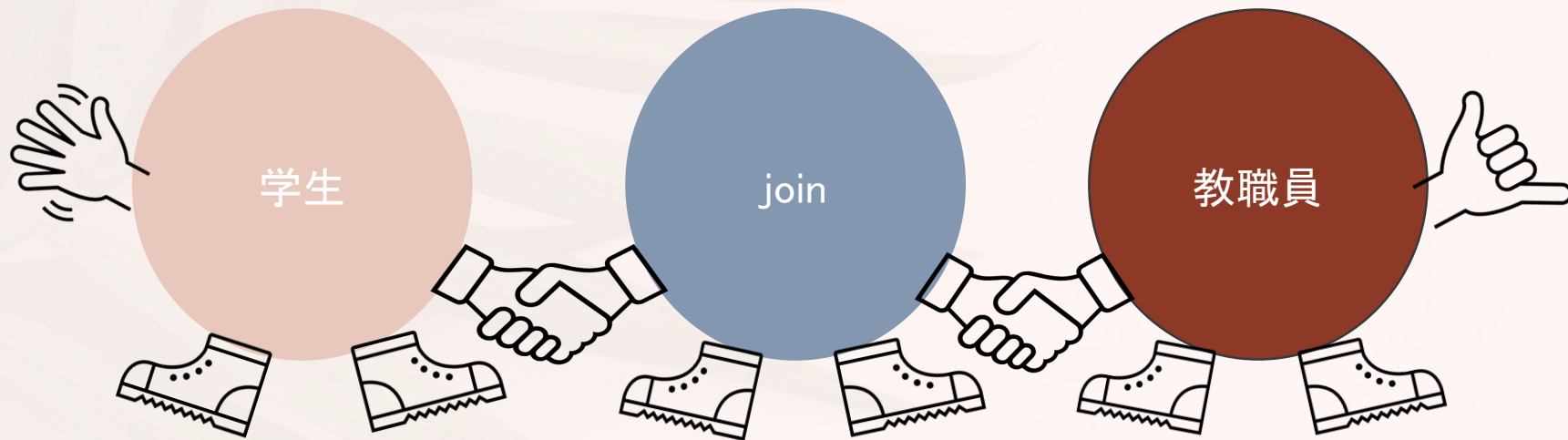


授業形態の変化で先生方の考えや思いを学生に伝える活動。また、その逆の活動が必要。

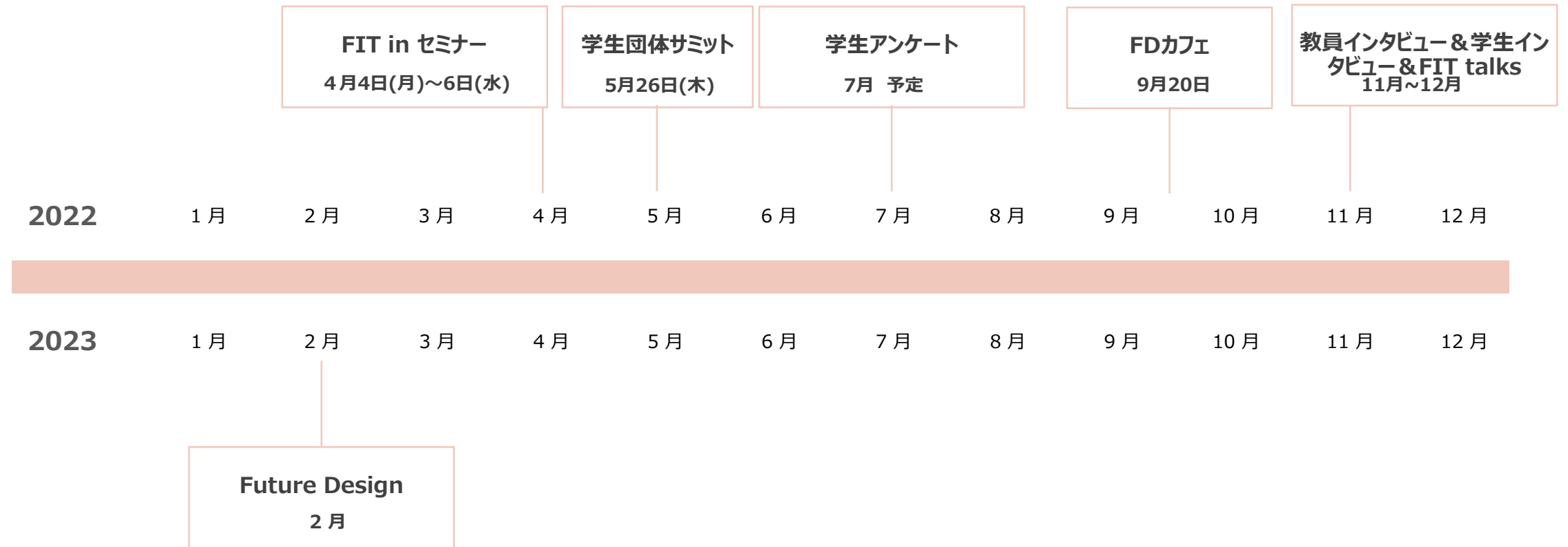
5. 今年度の活動目標

Joinが教職員と学生をconnectする取組みを作る！

目標値：イベント参加者 10人（学生）



6. 2022年度の活動内容



新入生オリエンテーション

【目的】

新入生が学びの仲間づくりのきっかけを作れるようにコミュニケーションゲームを企画運営し、大学生活をスムーズにスタートすることを目指す。

【時期】

4月4日～4月6日

【内容】

自己紹介(嘘・本当ゲーム、他己紹介)、ITOゲーム、福工大クイズ、表彰

【時間】

70分

*昨年度は1番始めに30分間の時間をいただいていたが、今年は最後に70分間の時間をもらった。

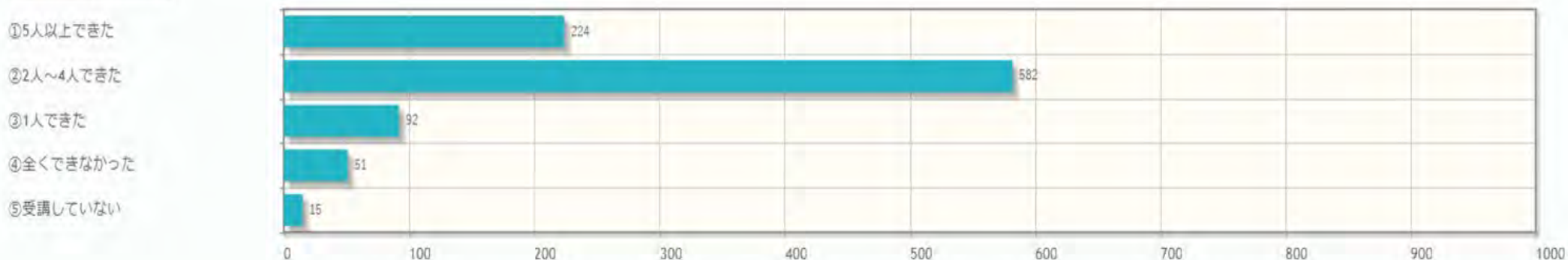


新入生オリエンテーション

FIT-inセミナーアンケート結果(学生企画関連)

6. FIT-inセミナーを受講したことで、今後も話ができそうなクラスメイトはできましたか。

棒グラフ 円グラフ



ゲームが楽しかったです。

FIT-inセミナーを通して、4年間のお付き合いになりそうな親切で前向きな仲間に沢山出会えたのでよかったです。

初めてあった人の顔や名前を覚えるのは苦手ですが、地元の近い学生と話が合い、楽しく時間を過ごせました。

新入生オリエンテーション

11. 「学生企画（友人づくりに向けて）」のプログラムでは、グループワークが友人作りのきっかけとなりましたか。

棒グラフ 円グラフ

①非常にそう思う

455

②そう思う

442

③あまりそう思わない

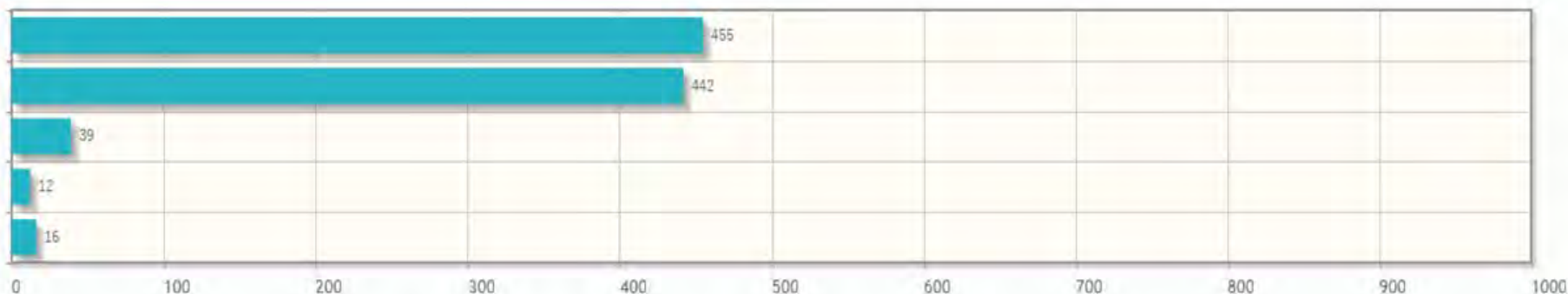
39

④そう思わない

12

⑤受講していない

16



人数

回答内容

友達ができるかとても不安だったので、このセミナーはすごくよかったです。

同じ学科の日と初めて話す、良い場だった。

意識や意欲の高い学生たちに出会えたのでとてもラッキーでした。これからもそれぞれ異なる得意分野で協力し合いながら一緒に大学生活を充実したものにしていきたいです。

3件 (1 / 1)



1



50

新入生オリエンテーション

12. 学生企画（友人づくりに向けて）」のプログラムでは、楽しめましたか。

棒グラフ 円グラフ

①非常に楽しめた

462

②楽しめた

462

③あまり楽しめなかった

22

④全く楽しめなかった

1

⑤受講していない

17



人数

回答内容

班のみんなと仲良くなることができ、時間割を一緒に組んだり、分からないことを互いに共有し解決していくことが出来たので凄く助かるし学校が楽しいです！

共通の認識を作ることは結構難しいと感じた。

特にITOゲームが楽しかったです。

ITOゲームは盛り上がりましたが、ウソホントゲームはあんまりでした。ウソとホントのギャップを即座に考えるのが難しすぎます。

Itoゲームがとても楽しかった

ゲームが少し難しかったけどそれが面白くて、とても楽しめました。

6件 (1 / 1)

1 50

新入生オリエンテーション

【課題】

- ・リハーサルの時間を設けてなかったため、学生スタッフの動きの共有が上手く出来ていなかった。
- ・学生企画に入る前まで全く話さない班が見られた。

【解決策】

- ・スケジュールを前もって決めておき、学生スタッフの募集は新入生オリエンテーションの運営の2～3ヶ月前に決めておく。
- ・初めのアイスブレイクに力をいれる。

学生団体サミット



【目的】

学内の学生団体に所属している学生がお互いの活動を共有、理解し、そこから見えてくる各団体における課題や解決策を学生同士で話し合い、各団体や個人の活動の発展に繋げる

【時期】

5月26日(木)16:30~18:00

【内容】

- ・各団体の紹介
- ・交流会(アイスブレイク:お絵かき伝言ゲーム)
- ・ワーク(団体の強み、他団体のイメージ、特徴、コラボ)



学生団体サミット

2022FIT 学生団体サミットアンケートまとめ

参加者: 団体所属学生 24 名、見学(学生 2 名、職員 14 名)

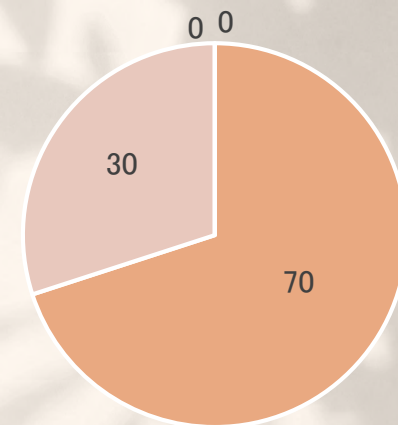
アンケート回答者: 23 名(回答率: 96%)

1. FIT 学生団体サミットに参加して、他団体の活動について理解、共有できましたか？

- ・とても理解出来た 70%
- ・理解出来た 30%
- ・あまり理解できなかった 0%
- ・理解できなかった 0%

その理由は？(一部抜粋)

- ・イメージでしか他団体のことを知らなかったが、各団体の紹介やワークショップで実際に他団体が行っていることを新たに知れた。
- ・紹介(各団体の)を見ることでイベント内容や組織運営の勉強になったから。



- とても理解できた
- 理解できた
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

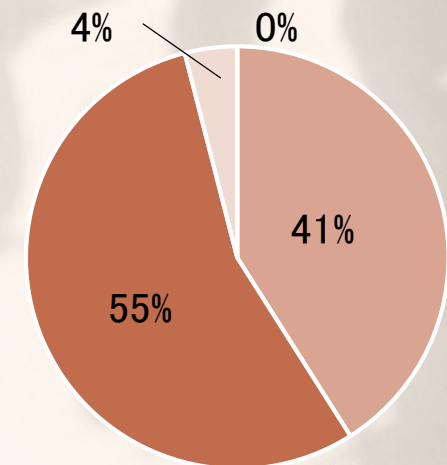
学生団体サミット

2. ワークショップに参加して、今後の活動に活かそうなものは見つかりましたか？

- ・具体的に見つかった 41%
- ・見つかった 55%
- ・あまり見つからなかった 4%
- ・見つからなかった 0%

その理由は？（一部抜粋）

- ・他団体の強みを知り、活かそうな部分が見つかった。
- ・イベント等で学生団体連合みたいな組織や学での各団体コラボなど面白い案が出た。



- 具体的に見つかった
- 見つかった
- あまり見つからなかった
- 見つからなかった

学生団体サミット

3. その他、今後話してみたいことや感想などがあれば記入してください。(一部抜粋)

- ・同じようなイベントをしているところがあったが、他団体との共有がないように見えた。共有をすればもっとよりよいイベントが実現しそう。
- ・自分では気づかないことがグループワークを通して気づくことができてよかった。
- ・今日のサミット以外でも他団体ともっと交流出来たらいいと思った。
- ・各団体の運営方法やその課題と解決策について話したい。
- ・各団体の活動場所で確保できている団体とそうでない団体がいたから。その場所を確保してから、そこで他団体と意見交換できればいいと感じた。

学生アンケート

【目的】

学生がより良い学びができるような環境づくり。先生方に負担のかからないような仕組みにする。

昨年度は、ハイブリッド授業の発展に重点をおいたアンケートを**学年全体**に実施。

問題点として…

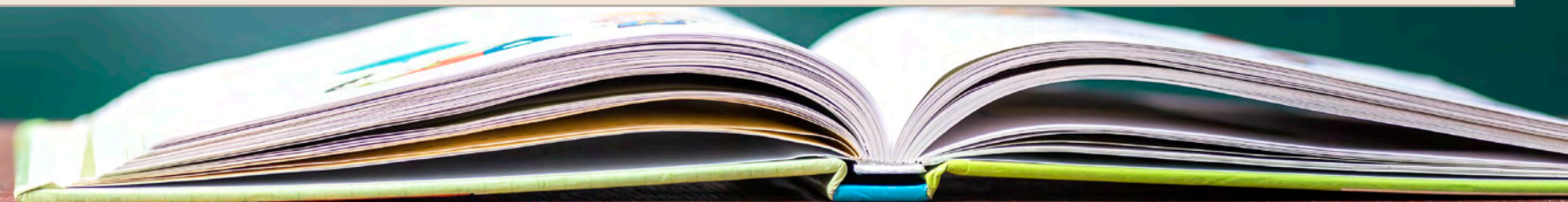
科目によって教え方が変わってくるので、**細かい分析、考察**が出来なかった。



そこで、今年は**先生方と協力**してアンケートを作成し、先生方が教える講義でアンケートを実施したいと考えている。その結果をjoinが集計し、**講義を受ける学生の傾向を分析し、どのようにすればもっと良くなるのか明確な提案**をしたい。

【時期】

・7月中



FDカフェ

【目的】

教員、学生、職員が交流することで、縦のつながりを強めるとともに、話し合いでそれぞれの立場がどのような思いでいるのかを共有することで客観的な思考を身に着け、新たな発見・行動に繋げる。

【時期】

9月20日(火)

【課題】

昨年度、FIT-join以外の参加者の学生が2~3人と非常に少なかった。

【解決方法】

- ・Instagramで情報発信、my-fitにて掲示板に貼る。
- ・参加者の中からFITカフェの割引券が当たる仕組みにする。



教員 & 学生インタビュー&FIT talks

【目的】

先生、学生の思いを知ってもらい、個人が持つ目標に向かって行動する原動力にしよう。

昨年度は、学生アンケートと授業が分りやすいと好評だった先生方にインタビューさせていただいた。また、福岡工業大学の大学院に進みたいと考える学生、そうでない学生に大学院の先輩のイメージを伝えるために、大学院の先輩の方にもインタビューに協力してもらった。

今年は、TEDのような感じで先生に限らず学生や職員など、インタビュー形式以外でも、話す場を設けたいと考えている。

【時期】

・11月～12月



TED talks

IDEAS WORTH SPREADING



Future Design

【目的】

福岡工業大学の学生団体の認知度向上、教員と学生の壁をなくす

【時期】

2月

“予定”

Join以外の学生団体の紹介を入れる。昨年度と同様に教員インタビューの様子と内容を記載する。それに付け加えて、入学式で配られる青のバックの中に入れる。もしくは、オリエンテーションの際に配布する。



“期待されること”

教員のインタビューの様子、一面を知ること
で講義での質問やそれ以外の話ができるような
関係に繋がる。
各団体の後継者を見つけやすくなる。





質疑応答